

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	病虫害等対策高木剪定事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	みどりの課			
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理		主管課長	小島 敏明			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	樹木(公園緑地帯)	意図	周辺住民や利用者が安心・安全に過ごせる場所を提供する。
事業内容	公園緑地等にある樹木が病虫害に侵されたものや倒木の恐れのあるものを剪定等を実施し、身近に安らぐ空間を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	病虫害に侵された樹木や周辺住宅に倒木の恐れのある樹木が年々増加している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		剪定対象樹木	80	73	66	本	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						病虫害に侵された樹木や成長した樹木を毎年剪定し、適正な管理を行っている。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,019,200	8,443,700	8,507,600			
事業費(b)(円)		5,254,200	5,011,200	5,151,600			
うち一般財源		5,254,200	5,011,200	5,151,600			
職員給与費(c)(円)		3,765,000	3,432,500	3,356,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	自治会等からはかかれた松等や病虫害に侵された樹木の早期対応が求められることから委託業者を活用し適切に対応する。	取組の課題	病虫害に侵された樹木は台風などの強風により、倒木の恐れがあることから、定期的な点検が求められる。
今年度(H29)に実施した取組	市内11公園緑地にて実施し、66本の樹木を剪定または伐採した。	今後の改善計画	公園管理業務や自治会等からの情報をもとに素早い対応で剪定を行う。